

展覧会スケジュール	2026/4	5	6	7	8	9	10	11	12	2027/1	2	3
ギャラリーI 【特別展】	ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき アール・ヌーヴォーからモダンへ 4/4-6/21		吉田瑋也のデザイン — 新作民藝運動がめざした未来 7/11-9/27			セラミックス・ジャパン2 戦後日本の陶磁器デザイン(仮称) 10/24-1/17				ishoken展 多治見市陶磁器意匠研究所の歩み 1/30-3/14		
ギャラリーII 【企画展】	展示室A (2F)	七代加藤幸兵衛展 4/24-5/31	林正太郎展 6/6-7/12	大地のこどもたち 2026 わたしたちのエネルギー 8/1-8/30		受贈記念 ドレスデン ポルツェラン 9/15-12/6				コレクション・ハイライト 12/19-3/22		
	展示室B (3F)	コレクション・ハイライト 4/24-7/12								令和7(2025)年度新収蔵品展 II 12/19-3/22		
	展示室C,D (3F)	令和7(2025)年度新収蔵品展 I 4/24-7/12										
プロジェクトルーム	イェリザベタ・ポートノヴァ展 4/24-5/17		*第13回国際陶磁器展美濃グランプリ受賞作家									

## ギャラリーI【特別展】

### 日欧プライベートコレクション ロイヤル コペンハーゲンと 北欧デザインの煌めき アール・ヌーヴォーからモダンへ

Through the eyes of Japanese and European collectors  
Royal Copenhagen and Scandinavian Design  
Art Nouveau to Modern

2026年4月4日(土) - 6月21日(日)



ロイヤル コペンハーゲン《皿「ブルー・ブルー・レッド」》1795年 堀川コレクション

デンマークとスウェーデンの陶磁器、銀器、ガラス器を中心に、北欧デザインの魅力に迫る展覧会です。デンマーク王立磁器制陶所を起源とするロイヤル コペンハーゲンをはじめ、同業と人気を競い合ったピンク オー グレンダール、銀製品で名高いジョージ ジェンセン、ノーベル賞晩餐会で使われるガラス器を提供しているオレフォスなどの優品により、アール・ヌーヴォーからモダンへと連なるデザインの流れを紹介いたします。

### 吉田瑋也のデザイン

#### — 新作民藝運動がめざした未来

The Designs of Yoshida Shoya - Imagining the Future with the New Mingei Movement  
2026年7月11日(土) - 9月27日(日)

鳥取に生まれた吉田瑋也(1898-1972)は、医師でありながら、柳宗悦が提唱した民藝の思想に深く共鳴し、民藝運動に生涯を捧げた人物です。吉田は、陶芸、木工、染織、金工など多岐にわたる地域の職人らと向き合いながら、現代の生活にふさわしい日用品を自ら指導・デザインし、それらの流通、販売、普及までを一つの循環として構想していました。本展では、吉田が取り組んだ新作民藝運動の思想と実践の足跡を、吉田の蒐集品、吉田が手掛けた新作民藝、そして関連資料などを通じて紹介します。



牛ノ戸銀、吉田瑋也《デザイン》《緑軸白軸黒軸三方掛分皿》1957年 鳥取民藝美術館蔵

### セラミックス・ジャパン2

#### 戦後日本の陶磁器デザイン(仮称)

Ceramics Japan 2: Designing Ceramics in Postwar Japan (tentative)  
2026年10月24日(土) - 2027年1月17日(日)



白山陶器株式会社  
藤正洋(デザイン)  
(G型しよゆさし)  
1958年  
岐阜県現代陶芸美術館蔵

戦後日本でつくられた陶磁器のデザインを概観する展覧会です。第二次世界大戦後、日本の陶磁器生産は輸出産業として再び活気づきます。各地の産地、メーカーやデザイナーらが、人々の生活を豊かにし、また国際競争力を高めるために、優れたデザインを生み出し、活動を展開してきました。本展では、戦後、高度経済成長期からバブル崩壊以降の現代まで、人々の生活と社会に呼応しながら、多様に展開していった魅力ある陶磁器デザインに着目し、その様々な潮流を紹介いたします。

### ishoken展

#### 多治見市陶磁器意匠研究所の歩み

Ishoken Graduates  
Contribution of Tajimi City Pottery Design and Technical Center  
2027年1月30日(土) - 3月14日(日)

岐阜県東濃地方において、多治見市陶磁器意匠研究所は人材育成、試験研究、業界支援を通じて、陶磁器の産業と文化に貢献を重ねてきました。近年は国際的な交流も進め、ishokenの略称で海外にも知られるようになりました。本展は同研究所と共同で開催し、約70年にわたるその歩みの意義と実績を紹介するものです。修了後に活躍する作家たちによる、鑑賞用の器やオブジェなどと、実用陶磁器デザインの両面にわたって、多彩な成果をご覧ください。



加藤委《無題》2002年 岐阜県現代陶芸美術館蔵

## ギャラリーII【企画展】

### 美濃陶芸の系譜

The Genealogy of Mino

#### 七代加藤幸兵衛展

KATO Kobei VII  
2026年4月24日(金) - 5月31日(日)

展示室A

#### 林正太郎展

HAYASHI Shotaro  
2026年6月6日(土) - 7月12日(日)

展示室A

### コレクション・ハイライト

Collection Highlights

展示室B

### 令和7(2025)年度新収蔵品展 I

Exhibition of the New Acquisition in 2025 I

展示室D

2026年4月24日(金) - 7月12日(日)

※6月2日(火) - 6月5日(金)は展示準備のため閉室します

### プロジェクトルーム

#### 第13回国際陶磁器展美濃グランプリ受賞作家

イェリザベタ・ポートノヴァ展  
Ielizaveta Portnova

2026年4月24日(金) - 5月17日(日)

### 大地のこどもたち2026

The Children of the Earth 2026

2026年8月1日(土) - 8月30日(日)

展示室A-D

「わたしたちのエネルギー」をテーマとし、県内小学校、中学校、特別支援学校の児童・生徒が、学校の教育活動の中で、粘土と一生懸命に向き合って生み出された「やきもの」の作品を展示します。



大地のこどもたち2023  
最優秀賞作品

### 受贈記念 ドレスデン ポルツェラン

Donation Commemorative Exhibition: Dresden Porcelain

2026年9月15日(火) - 12月6日(日)

展示室A-D

### コレクション・ハイライト

Collection Highlights

展示室A

### 令和7(2025)年度新収蔵品展 II

Exhibition of the New Acquisition in 2025 II

展示室B-D

2026年12月19日(土) - 2027年3月22日(月・祝)